

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（高槻教室）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			コロナ感染防止のために、利用に当たっては1 m以上のスペースを取るようになっています。クールダウンできる小部屋も確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		事業所が3階に位置しているため、来所には階段を利用する必要があります。事業所までの階段が、危険とのご意見があり、張り紙による注意喚起を行い、必要な児童には、指導員が子どもと手をつないで下まで降りています。また、備え付け以外に照明を設置し明るくしました。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	○			日々の業務における必要な改善点を共有し、全体で取り組み、検証する体制づくりに努めています。特に、コロナ感染対策については、他の事業所の取り組み内容も含め、日々改善を図るようになっております。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けの評価表を実施し、保護者の意向等を伺い、話し合い、改善を図っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修も含め、毎月1回以上の研修会の機会を取り、積極的な参加を奨励しています。受講の際には研修報告書にて所内周知を図っています。

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的な保護者との面談の中でニーズの把握に努めるとともに、所内で検討会議を実施の上で、放課後等デイサービス計画・評価を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			医療機関等で WISC-IV などの検査を受検され、保護者の了承の上で情報提供がなされた利用者においては、参考にしております。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎日、学習が始まる前に指導員の中で、利用者の様子を共有し チームごとに活動の内容を検討しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			事業時間は一定ですが、内容は季節行事に応じた内容を取り入れるなど、内容が偏らないように工夫を図っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			アセスメントの結果に基づいた、個々のニーズに合わせた課題を提供できるよう、心がけております。また、長期休暇期間においては、宿題等のニーズにも合わせるなど、柔軟に支援を行います。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日々の利用者の状況に合わせ、個別、集団の活動を組み合わせた計画作成を行っています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前には必ず利用者の特性や状況を共有し、活動、支援内容や役割分担を決めています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			活動終了後に職員間で気付きや情報を共有し、次の支援に繋がるようにしています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			活動終了後に、来所する保護者には当日の様子を口頭で報告するとともに、毎回活動記録をつけ、月ごとに保護者の方にお渡ししています。	

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者との面談等による現状のニーズの把握に努め、都度に放課後等デイサービス計画の作成・評価を見直しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議招集の際には、児発管並びに担当者の参加を基本としています。担当者の参加が難しい場合でも、児発管が情報を把握の上、参加するよう努めています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		保護者の方からお申し出があれば、積極的に学校との連絡連携に努めます。トラブル発生時には、速やかに保護者に連絡を行います。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				該当の利用者なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		適切な支援の為に、連絡連携に努めて参ります。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				該当の利用者なし
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			年間3回の連絡会の研修に参加するとともに、連絡連携に努めています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			活動終了後に、来所する保護者には当日の様子を口頭で報告するとともに、毎回活動記録をつけ、月ごとに保護者の方にお渡ししています。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			事業所の取り組みで見られた児童の強みを活動報告において積極的に保護者へ伝えるとともに、家庭学習の提案も必要時に行っています。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか				
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			主に管理者、児童発達支援管理責任者が対応し、保護者の心配や不安を受け止め、助言や提案等を行い、現実的な対応策を共に考えます。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		個別支援的な事業であるため、保護者間連携が馴染みにくい側面もありますが、現状は特にコロナ感染予防のために、積極的な交流支援は行えておりません。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付担当者を設置し、苦情があった場合は真摯に受け止め、速やかな対応を行うよう心がけております。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		SNS等のツールを活用した情報発信の取り組みの導入を促進します。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○			事業所として個人情報保護方針を定めた上で、保護者同意の上、遵守しています。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			状況に合わせて電話や書面に対応したり指導員がゆっくり、はっきりと話す等の工夫や配慮を行っています。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	個人情報の問題もあるため、現状行っておりません。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			それぞれマニュアルを作成し、職員には適時に研修をしています。また、利用者にも保護者にも適時に対応について伝えております。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			災害時マニュアルを作成し、紙芝居を活用するなど、利用者の年齢に応じた防災教育を行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止マニュアルを作成し、研修後は職員に周知しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時に説明をし、同意書にサインをいただくとともに、個別支援計画書上にも明記しております。万一、事案発生時には経緯報告書を作成の上、説明責任を果たします。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者から提出される医師の指示書の確認のみならず、聞き取りでもアレルギーの有無を確認し、職員間での情報共有を行っています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事の大小を問わず事案の記載を行い、それを元に情報を共有する会議を開き、事故防止策の向上に努めています。